

本宮市橋梁長寿命化修繕計画 (令和4年度版)



平成大橋

令和5年3月
(令和7年12月一部改訂)



一 目 次

I.様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

—国土交通省—
インフラ長寿命化
基本計画における記載事項

1.長寿命化修繕計画の目的 1

2.長寿命化修繕計画の対象橋梁 4

1.対象施設

3.健全度の把握及び日常的な
維持管理に関する基本方針 7

2.計画期間

- (・老朽化対策における基本方針)
- (・新技術等の活用方針)

4.対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え
に係る費用の縮減に関する基本的な方針 9

- (・費用の縮減に関する具体的な方針)

5.対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期
及び修繕内容・時期又は架替え時期 16

- 3.対策の優先順位の考え方
- 4.個別施設の状態等

- (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度)
- (・対策内容・対策の着手、完了予定年度)
- (・対策に係る全体概算事業費)

6.長寿命化修繕計画による効果 16

- 5.対策内容と実施時期
- 6.対策費用

7.計画策定担当部署及び意見聴取した
学識経験者等の専門知識を有する者 17

II.様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期
及び修繕内容・時期又は架替え時期

III.優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 本宮市の現状

福島県中通りに位置する本宮市は、中心を阿武隈川が北流し、西側は安達太良山系の里山、東側は阿武隈山系の低い里山が数多く存在し、裾野には丘陵地や農地が広がり、人口29,986人

(2023年3月現在) 面積88.02km²を有しています。気候は、太平洋岸の表日本気候に属し、阿武隈山系の背後地に位置することから年間を通じて比較的温暖です。

福島県のほぼ中央に位置することから、古くから交通の要衝として栄え、現在も国道4号やJR東北本線、東北自動車道・本宮ICを有し、また郡山JCTに最も近接しているなど交通網が充実し、その利便性を生かして複数のニュータウンや多数の工業団地が整備され、大型企業も数多く誘致されています。

市には国道4号のほか、13本の県道が通っており、総延長902.4kmの市道は国・県道へアクセスする生活道路のほか農耕用の道路、及び大型企業の流通経路の一部として利用されています。

市道にかかる橋梁は172橋ありますが、JR東北本線や国道4号、東北自動車道を跨ぐ重要度の高い橋梁9橋を有していることや、阿武隈川に架かる100m以上の長大橋2橋を有している一方、5m未満の床版橋やボックスカルバートが管理橋梁の約半数を占めていることなどが特徴となっています。

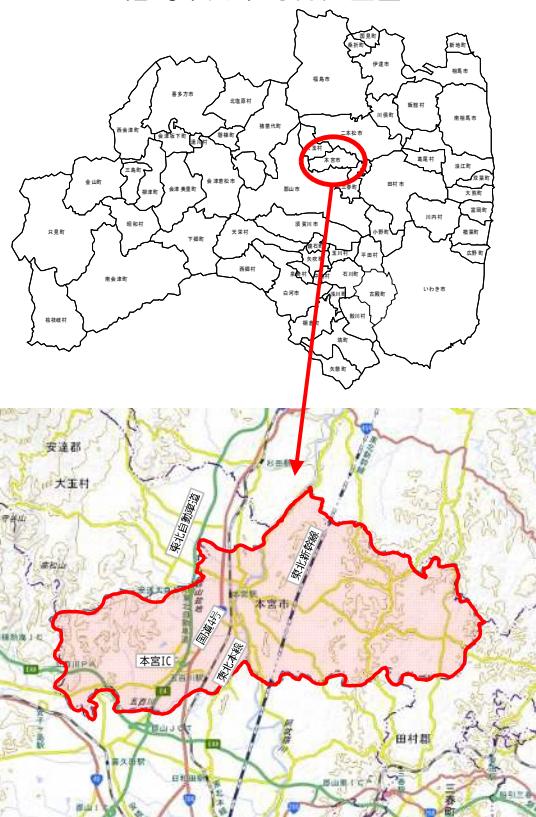
2) 背景

本宮市の管理する橋梁172橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約9%ですが、10年後の2032年には75%、20年後の2042年には88%と急激に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



福島県内市町村位置図

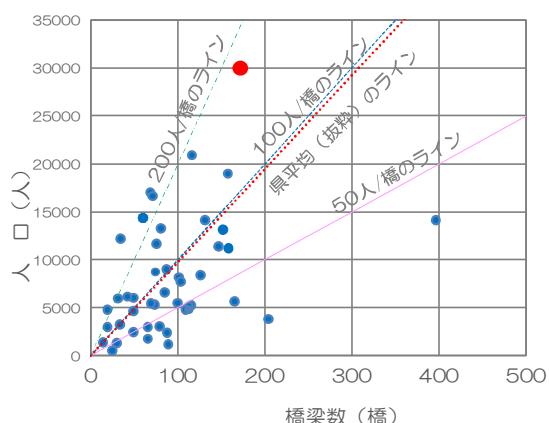


近隣町村との比較

町村名	面 積 (km ²)	人 口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当たりの人 口(人/橋)
本宮市	88.02	29,892	339.6	172	1.95	173.79
大玉村	79.44	8,773	110.4	74	0.93	118.55
二本松市	344.4	51,198	148.6	539	1.56	94.99
川俣町	127.7	11,108	87.0	147	1.15	75.56

人口は2023年現在

福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

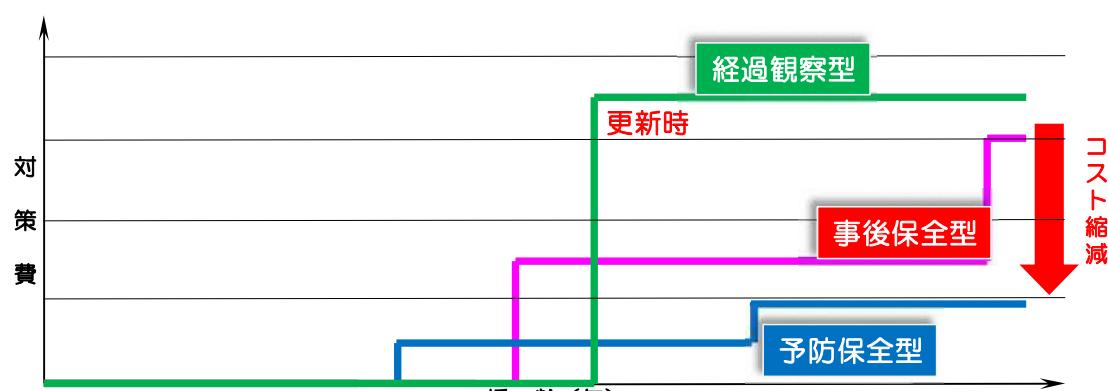
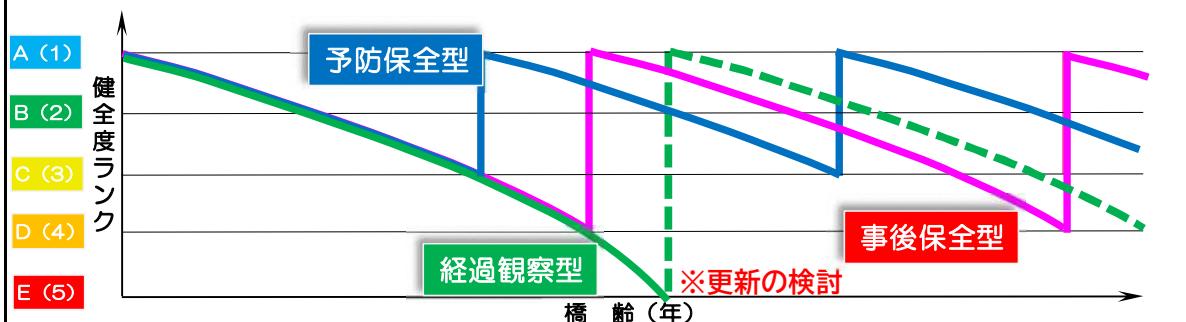


3) 目的

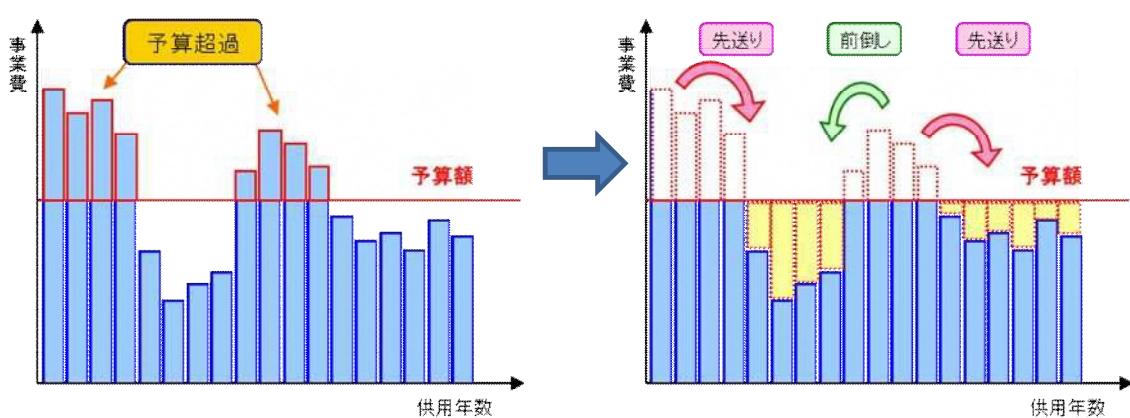
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで本宮市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ



予算平準化のイメージ

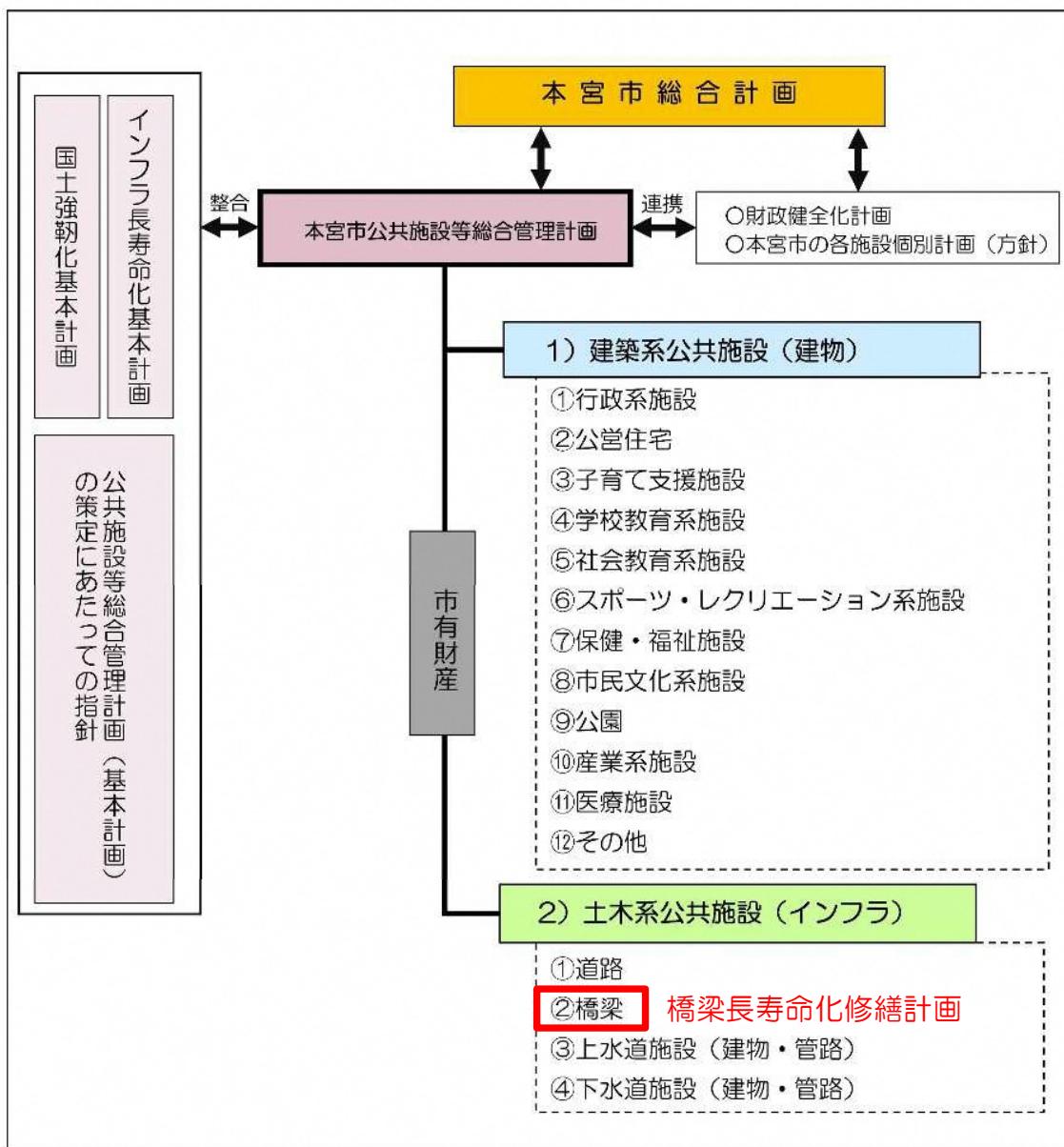
4) 計画の位置づけ

平成25年11月に策定された国の「インフラ長寿命化基本計画」は、あらゆるインフラを対象に、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するための計画です。

本宮市の計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」などを踏まえて策定するものであり、今後各施設の個別計画の指針となるものです。

なお、本計画は、「本宮市総合計画」「財政運営計画」と整合を図り、各施設・事業目的における公共施設等の役割や機能を踏まえた横断的な内容とします。

本計画を実施するため4の詳細な取組については、今後、各施設所轄部門が中心となって策定する施設個別計画に委ねるものです。



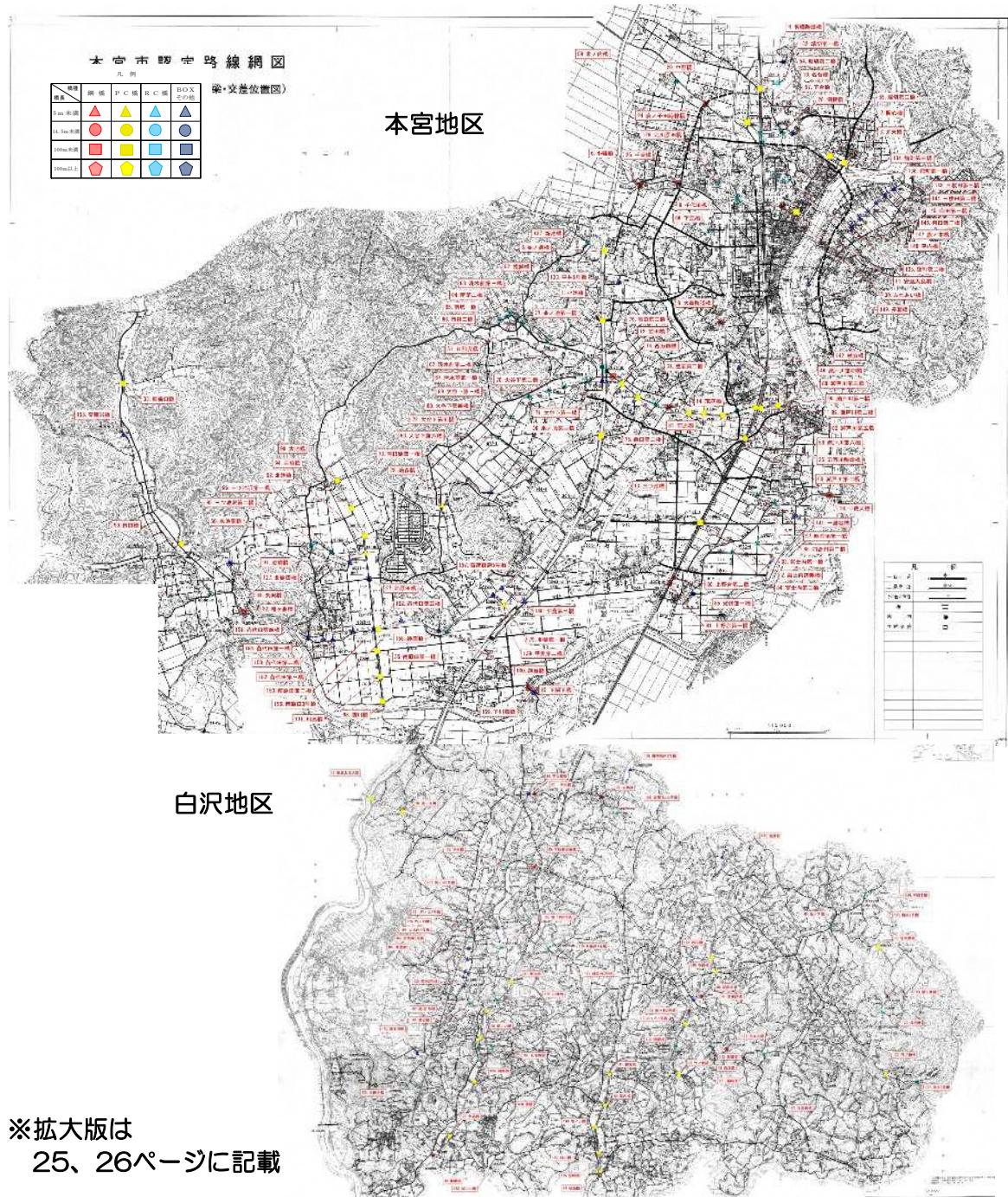
計画の位置づけ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

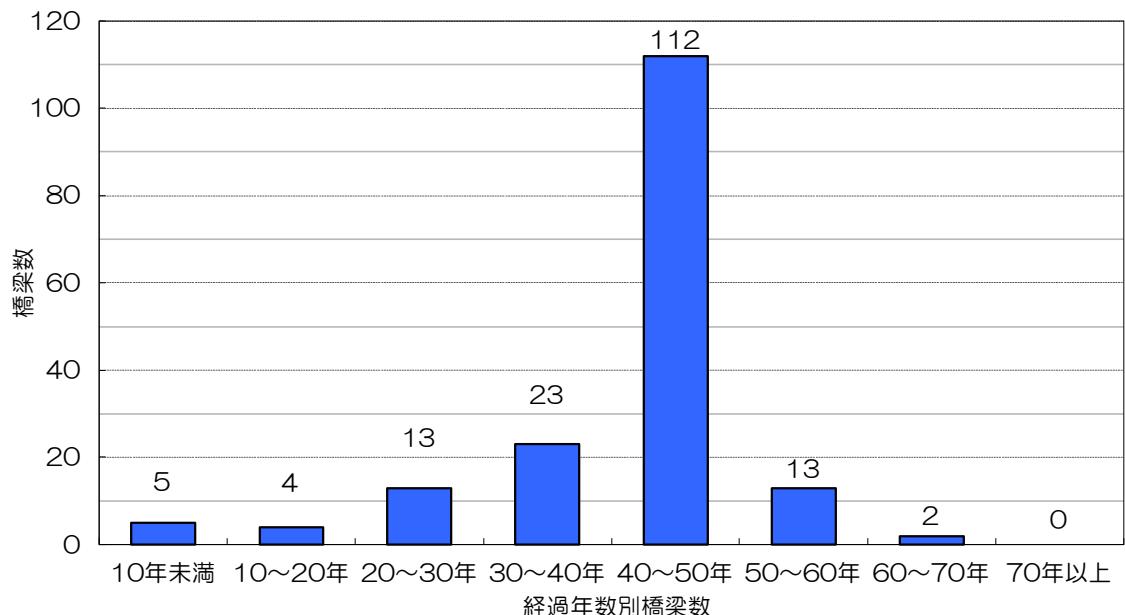
	市道 1級	市道 2級	市道 その他	合計
全管理橋梁数	7	11	154	172
うち計画の対象橋梁数	7	11	154	172
うちこれまでの計画策定橋梁数	7	11	154	172
うち令和4年度計画更新橋梁数	6	11	28	45

※長寿命化修繕計画の対象：本宮市が管理する橋長2.0m以上の橋梁172橋を対象とします。

172橋の内、令和2～4年度に定期点検を実施した45橋について更新します。

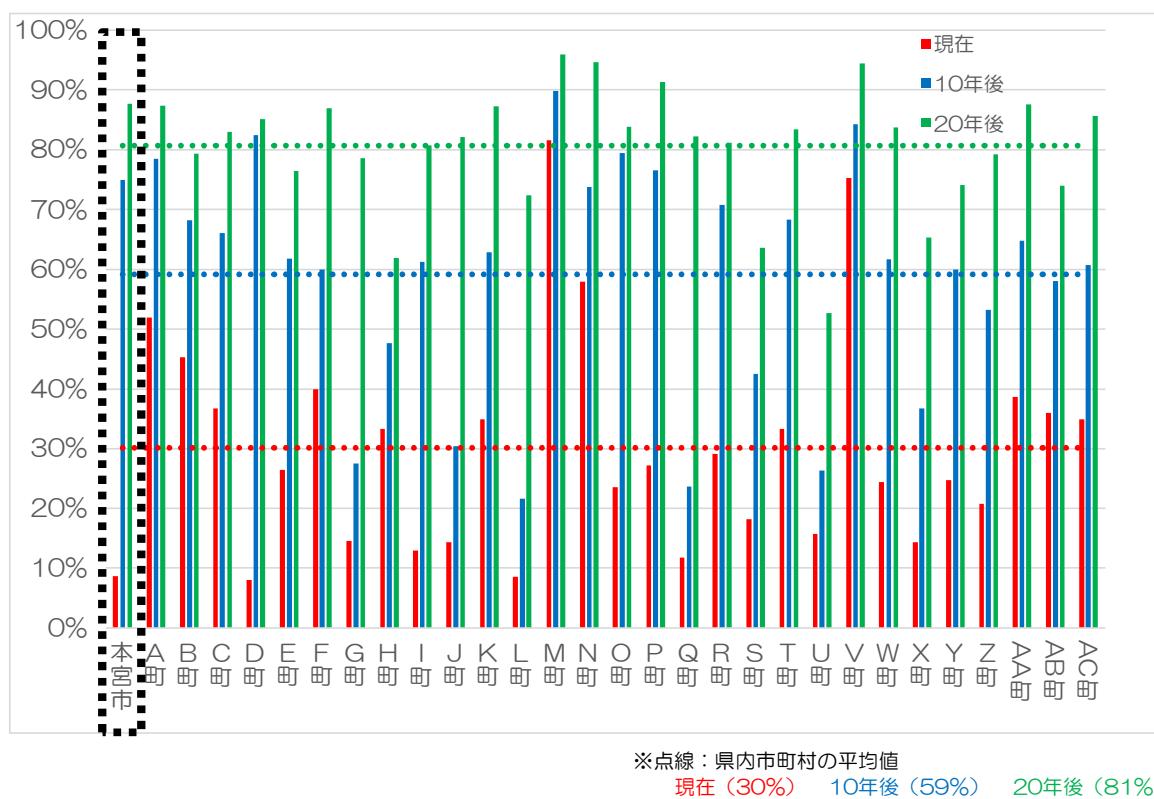


経過年数別橋梁数

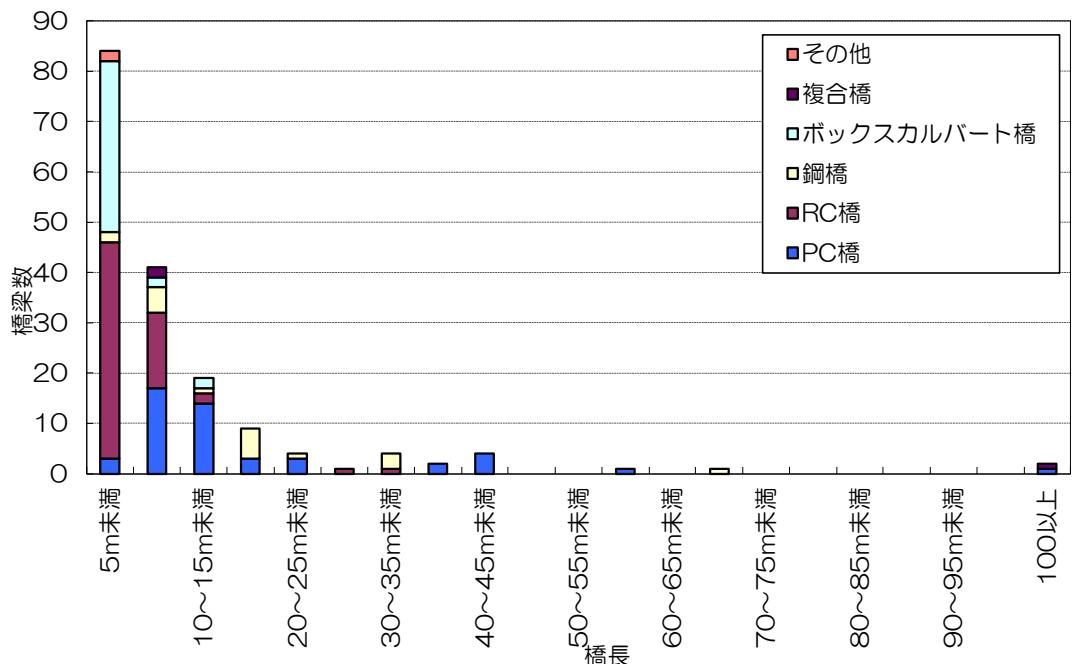


※長寿命化修繕計画で対象としている172橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は15橋あり、全体の9%を占めています。その内3橋は建設後60年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合

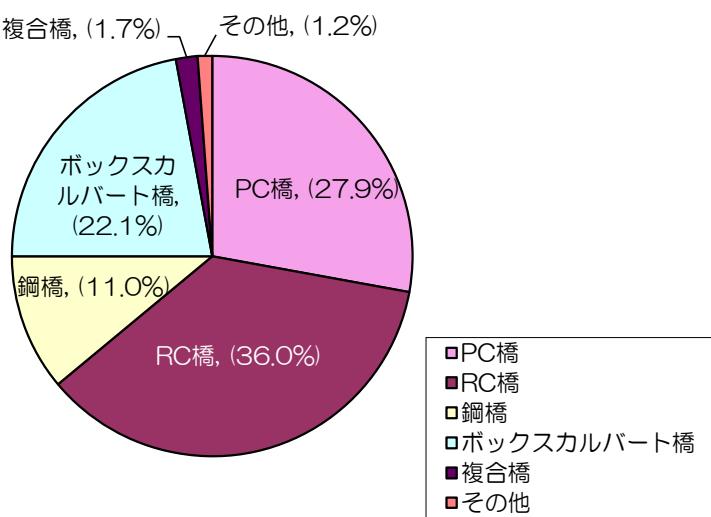


橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている172橋のうち、15m以上の橋梁が28橋あり全体の16%を占めています。その内、2橋は200mを超える阿武隈川に架かる長大橋です。また、5m未満の橋梁は84橋あり全体の49%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではRC橋が62橋で全体の約36%、PC橋が48橋、ボックスカルバート橋が38橋でコンクリート橋が全体の86%を占めています。複合橋は鋼H桁+プレテン床版が2橋、鋼箱桁+鋼I桁が1橋です。その他は、コルゲートアーチカルバート橋が1橋、石桁橋が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

（・新技術等の活用方針）

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（NETS）や点検支援技術性能力タログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に、令和9年度までの次回点検において、前回[I]判定の小スパン（橋長5m程度）の3橋梁程度、及び横断歩道橋の1割程度について、画像解析、AI診断等の新技術を活用し、21万円程度のコスト縮減を図ります。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



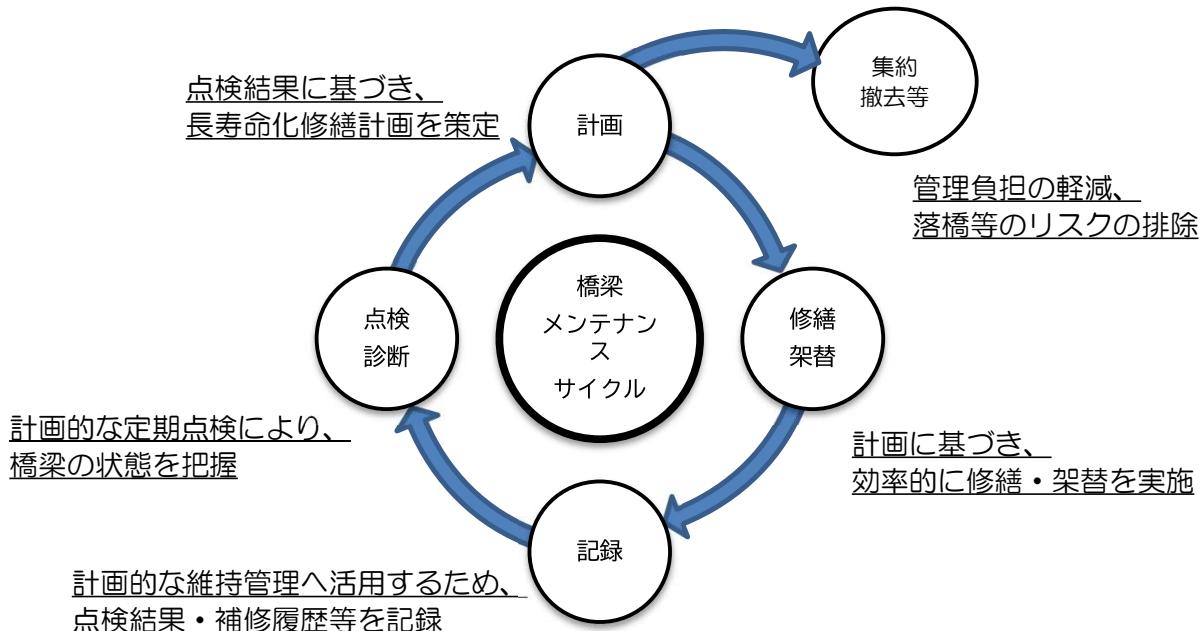
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能力タログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、道路作業員によるパトロールを実施し、排水溝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

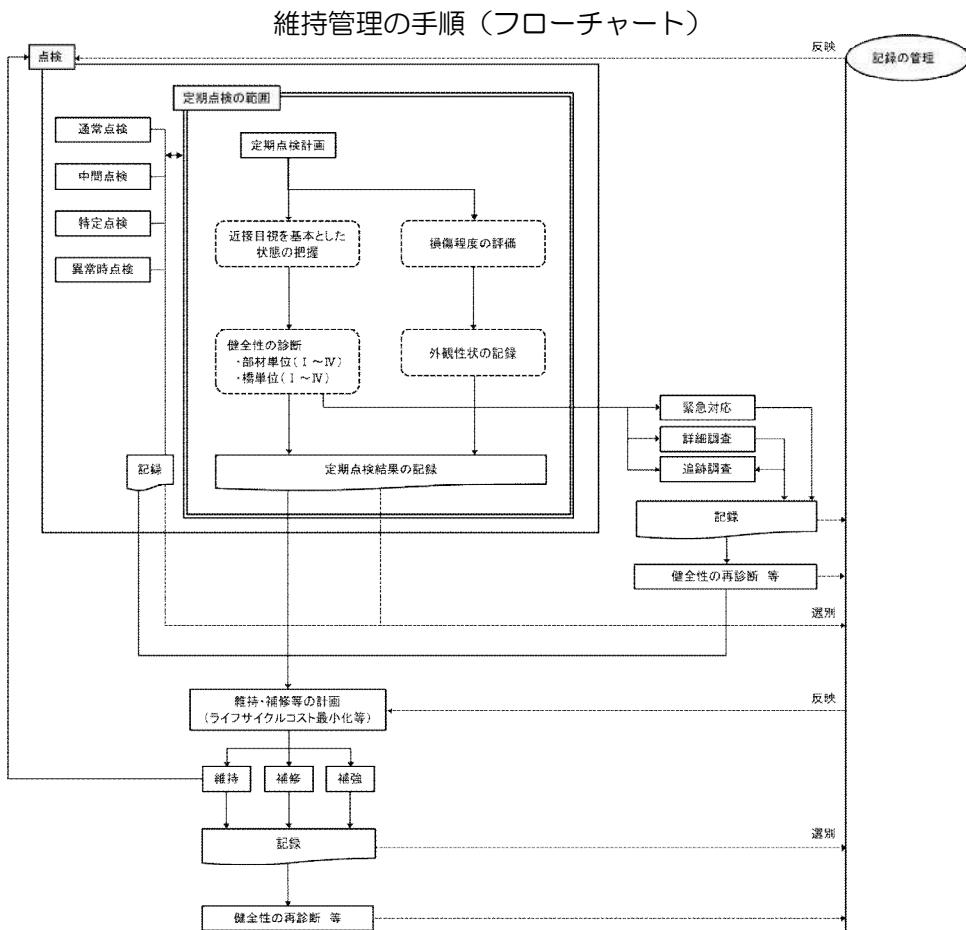


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2023年～2072年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行つことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時に行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (対策の優先順位の考え方)

本宮市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の88%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とする 것을目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿 命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回※2	橋梁点検(1回/5年)※3	橋面洗浄	桁洗浄
S 本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	重要度該当0 かつ ・カーブパート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備 考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②12級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水機 の清掃及び各面の堆積土砂 除去を実施（費用は計上せ ず） ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全 費用を橋梁ごとに 計上する ②：2年に1回 ⑤：5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

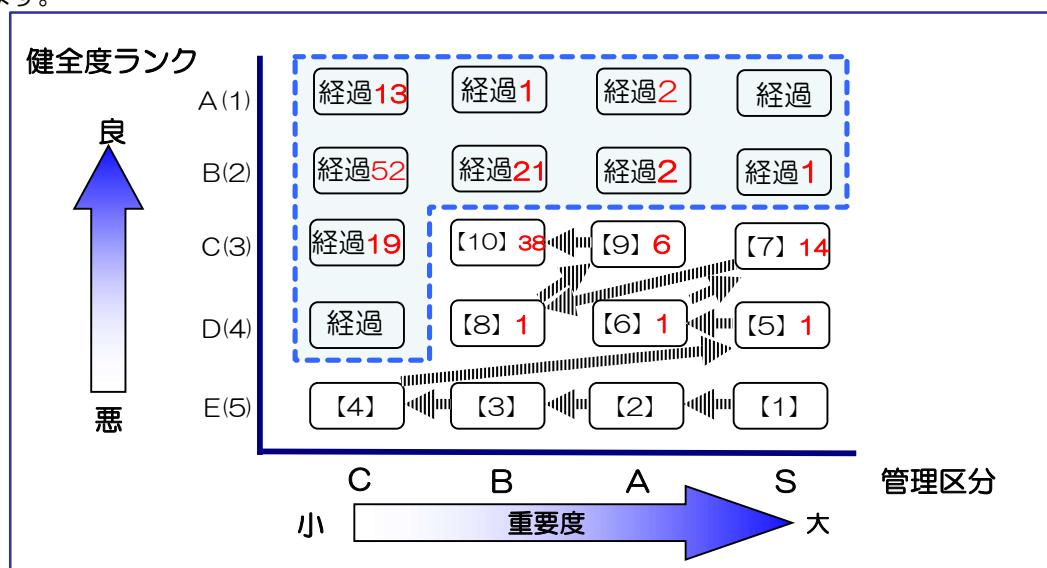
本宮市の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合（集約・撤去）も視野に入れた維持管理を行っていきます。また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁4橋（検討する橋梁：青田原第一橋、小山第一橋、五斗内橋）は、対策が必要となった時点で横断側溝や横断暗渠に架け替えを実施し、架け替え後の点検費用等のコスト削減を目指していきます。なお、横断歩道橋については、交通量が多く危険な交差点に位置するなど、社会活動等に影響を与えるため、集約・撤去を行うことが困難でありますか、周辺の状況等を踏まえ、再度検討を行っていきます。

【集約・撤去に関する短期的な数値目標】

※松ヶ作2号橋について、周辺住民と調整のうえ令和14年度までに集約・撤去を実施し、点検費用約30万円、維持管理費用約1200万円のコスト縮減を目指していきます。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果（個別施設の状態等）

本宮市は平成26年～平成29年度に1巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年～令和4年度に2巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。（判定区分「II」健全度「C」以上表示）

番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員(m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0028	関根橋	5.60	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.80	1984	39	床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0024	鹿ノ子田跨線橋	28.10	4	RC橋	RC 箱桁	2.00	1961	62	主桁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R3	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0005	蛇ノ鼻橋	55.00	3	PC橋	ラーメン橋	6.50	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき、漏水・遊離石灰、その他
0038	堀ノ内橋	7.90	2	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	2000	23	支承	D(4)	III	H27	D(4)	III	R2	支承部の機能障害
0022	一本松橋	18.46	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	3.00	1974	49	その他（地盤）	D(4)	III	H27	D(4)	III	R2	変形・欠損、うき
0009	千代田橋	32.60	3	RC橋	RC T桁	4.00	1954	69	主桁	C(3)	II	H29	D(4)	III	R4	ひびわれ、うき（補修済、再劣化）
0001	小池橋	41.60	3	PC橋	ラーメン橋	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、その他
0019	安達太良大橋	206.40	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2003	20	主桁、横桁、下部工	C(3)	II	H28	C(3)	III	R3	ひびわれ
0013	三ツ池橋	41.80	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき、その他
0004	名郷跨線橋	42.40	1	PC橋	ボステン中空床版	6.75	2012	11	横桁	D(4)	III	H29	C(3)	II	R4	ひびわれ（一部補修済）
0016	平成大橋	263.00	4	鋼溶接橋	箱桁（不明）	6.50	2001	22	主桁、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	ひびわれ、その他、漏水・満水
0036	下白旗橋	14.00	1	RC橋	RC鋼橋（BOXカルバート）	12.00	1978	45	頂版	C(3)	II	H28	C(3)	II	R2	剥離・鉄筋露出、うき
0025	五百川跨線橋	10.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.40	1962	61	主桁	D(4)	III	H27	C(3)	II	R2	剥離・鉄筋露出（補修済）
0008	大森跨道橋	32.00	1	鋼溶接橋	I桁（不明）	6.00	1995	28	下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	ひびわれ、土砂詰まり
0021	岩角橋	17.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	5.00	1986	37	主桁、横桁	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	腐食、防食機能の劣化
0002	富士内跨線橋	20.70	1	PC橋	フレテンT桁	7.50	1991	32	横桁	C(3)	II	H28	C(3)	II	R2	扁平・遊離石灰、うき、定着部の異常
0045	学校前歩道橋	19.30	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	0.00	2003	20	支承	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	支承部の機能障害
0020	滝ノ沢橋	16.30	1	PC橋	フレテン中空床版	7.50	2003	20	下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	ひびわれ
0032	輪ヶ瀬橋	16.30	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.66	1978	45	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0003	弁天橋	40.20	1	PC橋	ボステンT桁	6.00	2001	22	横桁	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	ひびわれ
0006	小幡橋	20.01	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	4.50	1971	52	床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0014	茂庭橋	15.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	4.50	1973	50	床版	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0010	名台橋	23.60	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.25	1997	26	主桁、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	ひびわれ
0011	安達太良橋	37.40	2	PC橋	フレテンT桁	7.50	1990	33	下部工	C(3)	II	H29	C(3)	II	R4	ひびわれ
0043	京塚橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	8.30	1968	55	側壁、床版、下部工	D(4)	III	H27	C(3)	II	R2	ゆるみ・陥落、床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損（一部補修済）
0104	愛宕橋	10.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.50	1978	45	その他（廻転軸）	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	洗堀
0039	耕綱橋	8.00	2	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	6.00	1968	55	主桁、横桁	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	腐食、防食機能の劣化
0035	南原田第一橋	8.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1978	45	主桁	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0081	上野台第一橋	5.10	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.50	1975	48	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0017	竹ノ作橋	15.40	1	PC橋	フレテンT桁	6.50	1990	33	RC床版橋、鋼溶接橋	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	路面の凹凸、変色・劣化、漏水・満水
0031	茂庭第二橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.90	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	変形・欠損、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0041	柳宮橋	11.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1980	43	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0044	昭和橋	11.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.10	1978	45	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	変形・欠損、漏水・遊離石灰、ひびわれ、うき
0040	根岸橋	12.80	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	8.50	1989	34	主桁、床版	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	ひびわれ、変形・欠損、漏水・遊離石灰
0027	北原田橋	5.10	1	RC橋	RC床版橋（その他）	5.50	1982	41	主桁	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0089	瀬戸川第二橋	10.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0090	瀬戸川第一橋	10.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0117	大岩入橋	9.40	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.20	1975	48	側壁	C(3)	II	H26	C(3)	II	R4	ひびわれ
0111	松ヶ作2号橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	0.90	1975	48	主桁、下部工	C(3)	II	H26	C(3)	II	R4	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0033	東前田橋	9.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1979	44	支承	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	変色・劣化
0093	閑川橋	9.40	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1981	42	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0088	瀬戸川第三橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	2.00	1973	50	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出
0061	前原橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0106	羽黒橋	8.30	1	RC橋	RC桁橋（その他）	1.50	1971	52	主桁	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出
0058	北ノ内橋	5.50	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1980	43	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰、変形・欠損、洗堀
0042	黒内橋	12.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1981	42	床版	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0023	大黒橋	15.60	1	PC橋	フレテンT桁	8.00	1995	28	床版	C(3)	II	H27	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0060	瀬戸川第七橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0082	瀬戸川第五橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0029	中野橋	9.60	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	5.00	1980	43	下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R4	洗堀
0018	笹久保橋	20.80	1	PC橋	フレテンT桁	5.00	2000	23	RC床版橋	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	土砂詰まり

3) 橋梁毎の点検結果（個別施設の状態等）

本宮市は平成26年～平成29年度に1巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年～令和4年度に2巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。（判定区分「II」健全度「C」以上表示）

番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員(m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0046	瀬戸川第四橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損、洗塗
0059	瀬戸川第六橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0057	下台橋	5.70	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0074	西万風橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0096	三ツ池沢第一橋	5.55	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0054	堀切第二橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43		B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0066	南第三橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	1.50	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0121	越田橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	床版、下部工	C(3)	II	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出、ひびわれ、変形・欠損
0099	南田橋	12.55	1	PC橋	PC 床版橋その他	2.00	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0037	除石橋	11.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.75	1989	34	下部工	C(3)	II	H27	C(3)	II	R2	漏水・遊離石灰
0078	藪森橋	3.45	1	RC橋	RC桁橋（その他）	3.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化、洗塗
0119	鍋ヶ作橋	4.65	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	2.20	1971	52		C(3)	II	H26	C(3)	II	R1	腐食、防食機能の劣化
0050	水池尻橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0095	三ツ池沢第二橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0148	平内橋	2.56	1	RC橋	RC溶接（BOXカルバー）	4.00	1990	33		B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0065	南第一橋	3.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1975	48	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0086	四合田第二橋	2.95	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1975	48	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出
0136	館町第一橋	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	漏水・遊離石灰
0071	大谷下第一橋	4.50	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.30	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0137	新池橋	2.35	1	RC橋	RC 中空床版	1.50	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	剥離・鉄筋露出
0135	館町第二橋	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0075	前田第二橋	4.50	1	PC橋	PC桁橋（その他）	3.00	1973	50	側壁	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0080	上野台第二橋	3.25	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.50	1975	48	主桁、床版、下部工	C(3)	II	H26	C(3)	II	R1	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0051	日記沢橋	3.90	1	RC橋	RC桁橋（その他）	4.00	1973	50		A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0083	富士内第一橋	4.00	1	RC橋	RC桁橋（その他）	3.00	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0084	富士内第二橋	4.00	1	RC橋	RC桁橋（その他）	4.50	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0064	南第二橋	2.05	1	PC橋	フレテン中空床版	3.30	1975	48	支承	A(1)	I	H26	C(3)	II	R1	変色・劣化
0134	館町第三橋	2.25	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	ひびわれ
0100	神座橋	2.45	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	II	R1	変形・欠損

区分	状態	健全度 ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	16橋	9%
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	76橋	44%
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講すべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	77橋	45%
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講すべき状態	D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	3橋	2%
		E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

4) 主要部材の損傷写真 健全度「D(4)」の橋梁



9.千代田橋：プレテンT桁橋
(橋長：32.60m、1954年竣工)
プレテン桁の橋軸方向ひびわれ・うき
※雨水の浸入により、損傷は進行する可能性が高い。(迂回路有り)

4) 橋梁の補修・架替状況

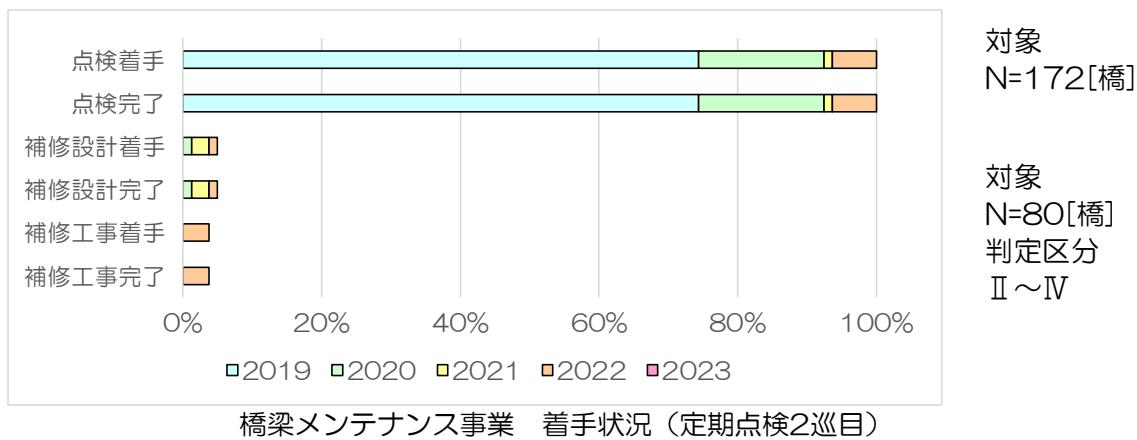
本宮市は、点検結果より早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」及び予防保全対策が必要な判定区分「Ⅱ」と診断された橋梁のうち、9橋について、橋梁の延命化を図ると共に、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、平成25年度～平成29年度、令和2年度～令和4年度に、それぞれ変状の詳細調査及び補修設計を実施しました。

また、補修設計を実施した7橋を含む計8橋について、平成27年度及び平成28年度、平成30年度、令和4年度にそれぞれ補修工事を実施しています。

対象橋梁は、以下のとおりです。

●実施箇所（災害復旧等を除く）

- ・千代田橋（平成25年度補修設計、平成27年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」相当→「(Ⅲ)」）
- ・下関下橋（平成25年度補修設計、平成27年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」相当→「Ⅰ」）
- ・前田橋（平成26年度補修設計、平成28年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・五百川跨線橋（平成27年度補修設計、平成29～令和元年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅱ」）
- ・矢沢橋（平成28・29年度設計、令和元年度架替工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・千束橋（令和3年度補修設計、令和4年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
- ・ふれあい橋（令和3年度補修設計、令和4年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
- ・名郷跨線橋（令和4年度一部補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅱ」）
- ・蛇ノ鼻橋（令和2年度補修設計実施済）
- ・鹿ノ子田跨線橋（令和4・5年度補修設計実施中）



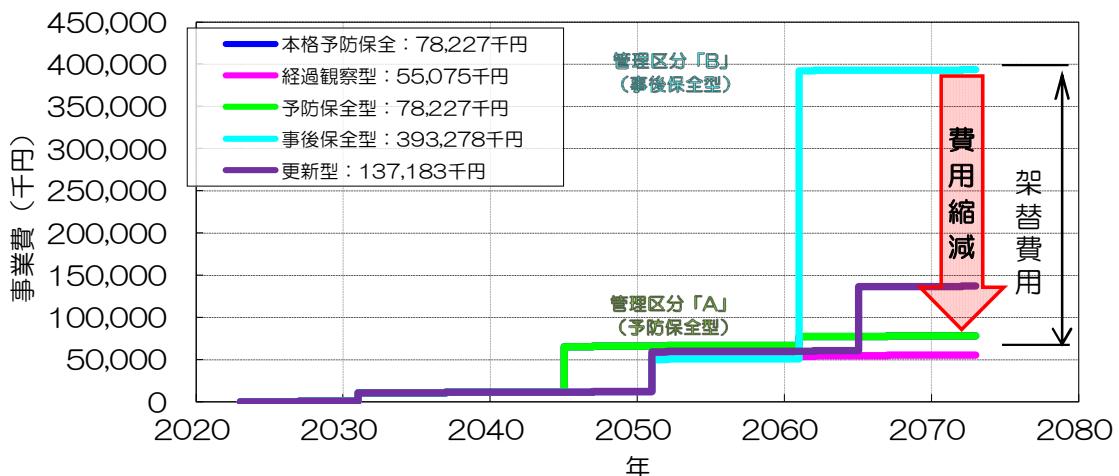
5) 修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

ふれあい橋、千束橋、茂庭橋、名台橋、千代田橋、輪ヶ淵橋、安達太良橋、竹ノ作橋、下関下橋、照心橋の10橋は橋長が14.5m以上の橋梁で、重要度に該当する項目が無しまたは1つであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。

事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、下表に示す対象橋の例では架け替えのため2061年に費用が増大します。これを寿命設定が100年の管理区分「A」（予防保全型）に変更し対策を行っていくことで、管理費用の縮減が図られ、現実的な町の予算に近づけることが可能となります。

照心橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



6) 優先順位の見直しをする橋梁

関根橋は、床版下面の剥離・鉄筋露出等により、判定区分「II」、健全度ランク「C(3)」の橋梁です。本橋は、本宮小学校への通学路に利用されており、優先度は高く、また、百日川の河川改修により架替えを予定していることから、順位を修正しました。（41位→1位）



関根橋（左上：終点側全景写真 左下：損傷写真 右：位置図）

6) 優先順位の見直しをする橋梁

鹿ノ子田跨線橋は、JR東北本線を跨ぐ跨線橋です。桁内部のひびわれ及び桁下面の鉄筋露出により判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C（3）」の橋梁ですが、架設後60年を経過しており、中性化による内部鉄筋の腐食により、かぶりコンクリートが剥落し、また、防護柵ボルトの脱落により、鉄道車両に被害を及ぼす可能性があるため、優先度が高いことから順位を修正しました。（8位→2位）



鹿ノ子田跨線橋（左：起点側全景写真 右：損傷写真）

蛇ノ鼻橋は、主桁下面の鉄筋露出・うき等により、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C（3）」の橋梁ですが、東北自動車道を跨ぐ橋梁であるため、優先度は高いと考えられます。また、本橋が架かる路線は1級市道小姓内線と県道大橋五百川停車場を結んでおり、交通量が多く重要度は高いことから順位を修正しました。（4位→3位）



関根橋（左上：右側全景写真 左下：損傷写真 右：位置図）

6) 優先順位の見直しをする橋梁

堀ノ内橋は、既存部（鋼H桁）主桁の腐食等により、判定区分「II」、健全度ランク「C(3)」の橋梁ですが、線支承のアンカーボルトに破断が確認されており、機能障害を生じている可能性が高いと考えられます。また、本橋が架かる路線は1級市道小田部・八幡線と県道本宮常葉線及び1級市道大山・松沢線（安達太良ドリームライン）を結んでおり、交通量が多く重要度は高いことから順位を修正しました。（17位→4位）



堀ノ内橋（左：損傷写真 右：位置図）

7) 撤去・集約化を検討する橋梁

青田原1号橋及び小山第一橋、五斗内橋は、1m程度の幅の水路を跨ぐ橋梁であることから、補修対策が必要と判断された際には、ボックスカルバート（溝橋※の定義外）に機能縮小することを検討し、地域道路網の安全性・信頼性を確保すると共に、将来的な維持管理費用の縮減に努めて参ります。

※溝橋：道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる構造物で、橋長2m以上かつ土被り1m未満のボックスカルバート。



小山第一橋（左：右側全景写真 右：機能縮小イメージ図）

8) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5.対策内容と実施時期）
 （・構造物の諸元、・直近の点検結果及び次回点検年度、・対策内容、・対策の着手、完了予定年度）
 様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETTS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めています。

●活用促進技術に指定されている新技術の例

鋼橋の塗装：鍛転換型塗装（登録番号）

コンクリート部材：断面修復工（登録番号）

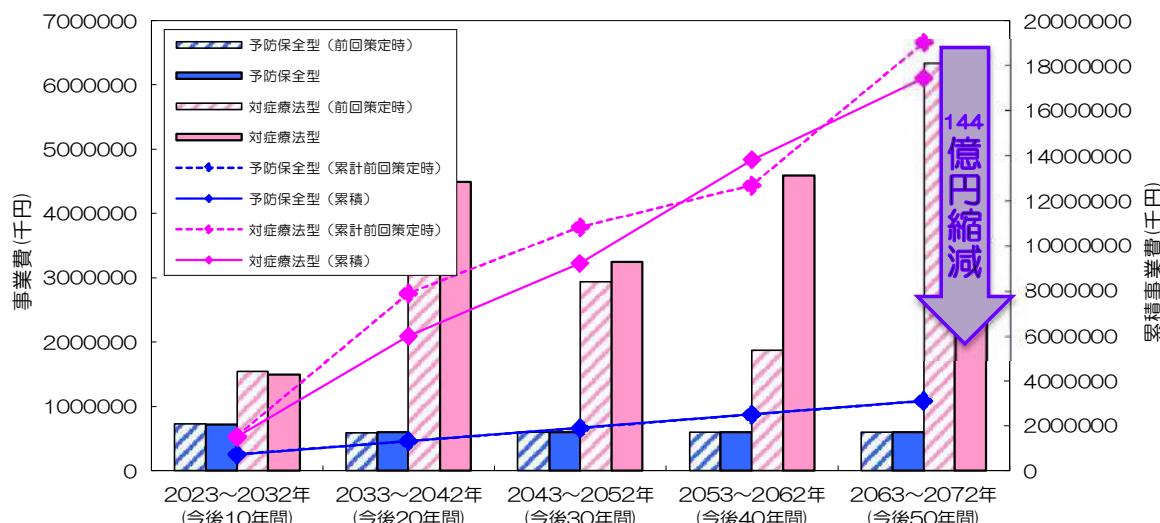
伸縮装置：（登録番号）

（6.対策費用の概算（・対策に係る全体概算事業費）は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による）

6. 長寿命化修繕計画による効果

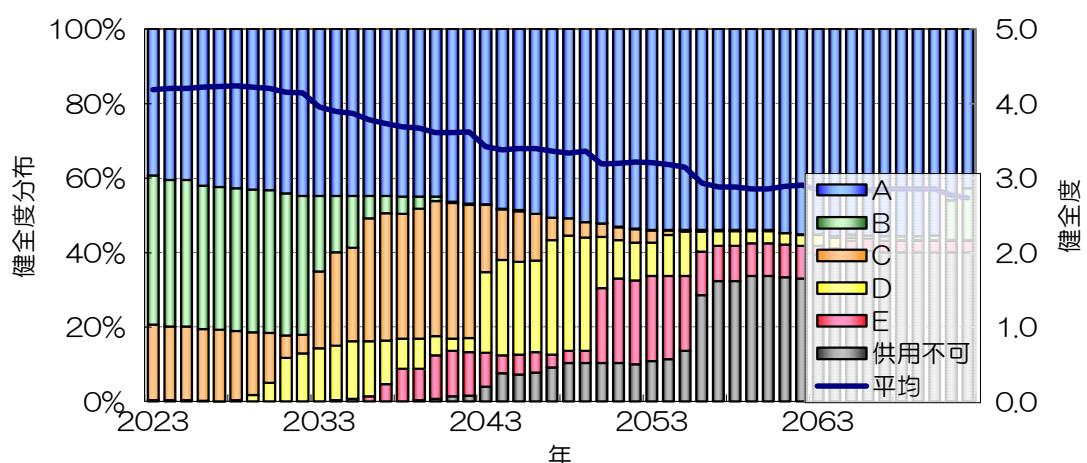
本宮市が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する172橋について、年間の予算制約額を0.60億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が175億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が31億円となり、コスト縮減効果は144億円（82.3%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
本宮市 建設部 建設課 tel:0243-24-5392

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1－2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例 : ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)		
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
関根橋	その他	館ノ越・関根線	5.6	1984	39	R2	II 更新	←→	点検								点検		94,928	
鹿ノ子田跨線橋	1級	猫田・近江内線	28.1	1961	62	R3	II	←→	主部材:主析補修工	点検							点検		126,670	
蛇ノ鼻橋	2級	平井・小幡線	55	1973	50	R2	II			点検	←→	主部材:ひびわれ補修工、断面修復工、表面保護工、防滑工	点検					92,324		
堀之内橋	2級	東 笹田・堤崎線	7.9	2000	23	R2	III			点検	←→	主部材:主部材補修工	点検						60,673	
一本松橋	その他	上永作7号線	18.46	1974	49	R2	III			点検	←→	主部材:主析補修工	点検						39,466	
千代田橋	その他	館町・千代田線	32.6	1954	69	R4	III				点検	←→	主部材:断面修復&足場					点検	17,286	
小池橋	1級	青田線	41.6	1973	50	R2	II			点検			点検	←→	主部材:ひび割れ補修等	点検			55,400	
安達太良大橋	その他	松沢・大山線	206.4	2003	20	R3	II				点検								5,000	
三ツ池橋	その他	青田原・中恵線	41.8	1973	50	R2	II			点検							点検		5,200	
名郷跨線橋	2級	堀切・赤坂線	42.4	2012	11	R4	II						点検					点検	28,000	
平成大橋	その他	仁井田・白岩線	263	2001	22	R4	II						点検					点検	8,000	
下白旗橋	1級	上明石内・西大夏張線	14	1978	45	R2	II			点検							点検		24,600	
五百川跨線橋	1級	荒井線	10.9	1962	61	R2	II			点検							点検		24,600	
大森跨道橋	その他	花町・葭ヶ入線	32	1995	28	R4	II				点検					←→	主部材:塗装等	点検	23,954	
岩角橋	その他	硯石4号線	17.5	1986	37	R2	II			点検						←→	主部材:塗装等		30,780	
富士内跨線橋	1級	富士内・上沢線	20.7	1991	32	R2	II			点検							点検		24,600	
学校前歩道橋	その他	学校前・重神線	19.3	2003	20	R2	II			点検						←→	主部材:塗装等		4,990	
滝ノ沢橋	その他	松沢・大山線	16.3	2003	20	R2	II			点検						点検			860	
輪ヶ淵橋	その他	輪ヶ淵線	16.3	1978	45	R4	II				点検					←→	主部材:塗装等		20,277	
弁天橋	1級	大町・立石線	40.2	2001	22	R4	II				点検								860	
小幡橋	2級	平井・小幡線	20.01	1971	52	R2	II			点検							点検		860	
竹ノ作橋	その他	関根7号線	15.4	1990	33	R2	II			点検							点検		860	
茂庭橋	その他	茂庭2号線	15.5	1973	50	R2	II			点検							点検		860	
名台橋	その他	名郷6号線	23.6	1997	26	R2	II			点検							点検		860	
安達太良橋	その他	下町・馬場線	37.4	1990	33	R4	II				点検							点検		860
京塚橋	1級	岩ノ入・二合田線	8.5	1968	55	R2	II			点検							点検		860	
愛宕橋	その他	小田部・川内線	10.45	1978	45	R1	II			点検							点検			
耕網橋	2級	耕網・埋内線	8	1968	55	R2	II			点検							点検		860	
南原田第一橋	その他	下関下・川原線	8.5	1978	45	R2	II			点検							点検		860	
上野台第一橋	その他	上野台9号線	5.1	1975	48	R2	II			点検							点検			
茂庭第二橋	その他	孫市・青田原線	5.5	1973	50	R2	II			点検							点検		860	
柳宮橋	2級	宮ノ下線	11.3	1980	43	R2	II			点検							点検		860	
昭和橋	2級	宮田・中里線	11.5	1978	45	R2	II			点検							点検		860	
根岸橋	2級	馬場・荒池線	12.8	1989	34	R2	II			点検							点検		860	
北原田橋	2級	立石山・本郷線	5.1	1982	41	R2	II			点検							点検	地覆打換等	6,494	
瀬戸川第二橋	その他	瀬戸川3号線	10.5	1973	50	R1	II			点検							点検			
瀬戸川第一橋	その他	瀬戸川5号線	10.5	1973	50	R1	II			点検							点検			
大岩入橋	その他	岩ノ入7号線	9.4	1975	48	R1	II			点検							点検			
松ヶ作2号橋	その他	松ヶ作10号線	8.5	1975	48	R1	II			点検							点検			
東前田橋	その他	東前田1号線	9.5	1979	44	R2	II			点検							点検		860	
関川橋	その他	上年神・上前田線	9.4	1981	42	R1	II			点検							点検			
瀬戸川第三橋	その他	瀬戸川2号線	9.4	1973	50	R2	II			点検							点検			

凡例 : ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)	
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
前原橋	その他	前田7号線	8.4	1973	50	R1	II	点検					点検						
羽黒橋	その他	羽黒・五斗内線	8.3	1971	52	R1	II	点検					点検						
北ノ内橋	その他	北ノ内2号線	5.5	1980	43	R1	II	点検					点検						
黒内橋	その他	白田・塩ノ崎線	12.5	1981	42	R2	II		点検					点検					860
大黒橋	その他	大黒・北箕内線	15.6	1995	28	R2	II		点検					点検					860
瀬戸川第七橋	その他	戸ノ内2号線	9.4	1973	50	R1	II	点検					点検						
瀬戸川第五橋	その他	白山・瀬戸川線	9.4	1973	50	R1	II	点検					点検						
中野橋	その他	一ツ屋南ノ内線	9.6	1980	43	R2	II		点検					点検					860
笹久保橋	その他	笹久保4号線	20.8	2000	23	R2	II		点検					点検					860
瀬戸川第四橋	その他	楕形線	9.4	1973	50	R1	II	点検					点検						
瀬戸川第六橋	その他	庄内1号線	9.4	1973	50	R1	II	点検					点検						
下台橋	その他	下台・名郷線	5.7	1980	43	R1	II	点検					点検						
西万風橋	その他	前田・西万風線	8.4	1973	50	R2	II		点検					点検					
三ツ池沢第一橋	その他	三池沢6号線	5.55	1973	50	R1	II	点検					点検						
堀切第二橋	その他	堀切・関根線	5	1980	43	R1	II	点検					点検						
南第三橋	その他	清水前6号線	5	1975	48	R1	II	点検					点検						
越田橋	その他	前田・大岩入線	5	1975	48	R1	II	点検					点検						
南田橋	その他	南田1号線	12.55	1975	48	R1	II	点検					点検						
除石橋	その他	石神堤崎線	11.5	1989	34	R2	II		点検					点検					860
殆森橋	その他	殆森・羽山線	3.45	1973	50	R2	II		点検					点検					
鍋ヶ作橋	その他	笹久保・鍋ヶ作線	4.65	1971	52	R1	II	点検					点検						
水池尻橋	その他	本郷・水池線	4.5	1973	50	R1	II	点検					点検					橋台:RC巻立等	829
三ツ池沢第二橋	その他	三池沢6号線	4.5	1973	50	R1	II	点検					点検						
平内橋	その他	平内1号線	2.56	1990	33	R1	II	点検					点検						
南第一橋	その他	清水前2号線	3	1975	48	R1	II	点検					点検						
四合田第二橋	その他	四合田8号線	2.95	1975	48	R2	II		点検					点検					
館町第一橋	その他	館町2号線	2.3	1980	43	R1	II	点検					点検						
大谷下第一橋	その他	来ノ池1号線	4.5	1973	50	R1	II	点検					点検						
新池橋	その他	蛇ノ鼻3号線	2.35	1980	43	R1	II	点検					点検						
館町第二橋	その他	館町2号線	2	1980	43	R1	II	点検					点検						
前田第二橋	その他	高速側道18号線	4.5	1973	50	R2	II		点検					点検					
上野台第二橋	その他	上野台9号線	3.25	1975	48	R2	II	点検					点検						
日記沢橋	その他	大町・作田線	3.9	1973	50	R1	II	点検					点検						
富士内第一橋	その他	富士内4号線	4	1975	48	R2	II		点検					点検					
富士内第二橋	その他	富士内5号線	4	1975	48	R2	II		点検					点検					
南第二橋	その他	清水前2号線	2.05	1975	48	R1	II	点検					点検						
館町第三橋	その他	館町9号線	2.25	1975	48	R1	II	点検					点検						
神座橋	その他	下関下15号線	2.45	1975	48	R1	II	点検					点検					橋台:RC巻立て等	596
下川原橋	その他	下関下19号線	4.75	1980	43	R1	I	点検					点検						
下関下橋	その他	下関下19号線	69.1	1975	48	R4	I						点検						860
照心橋	その他	大町・作田線	36.4	2001	22	R4	I						点検						860
苗代田第五橋	その他	南原田2号線	11.4	1975	48	R1	I	点検					点検						
作橋	その他	作・日向線	11.45	1979	44	R1	I	点検					点検						
前田橋	その他	前田4号線	15.6	1973	50	R4	I						点検					点検	860

凡例 : ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→ 下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
前田第三橋	その他	高速側道18号線	11.6	1973	50	R2	I			点検					点検			
来ノ池第一橋	その他	高速側道19号線	11.6	1973	50	R2	I			点検					点検			
川原橋	その他	上関下・川原線	7.3	1975	48	R1	I		点検					点検				
堰ノ上橋	その他	白田・宮ノ下線	12.5	1983	40	R1	I	点検					点検					
石神橋	その他	小田部・五味内線	5.45	1989	34	R1	I	点検				点検						
長瀬橋	その他	原・高木線	2.8	1990	33	R1	I	点検				点検						
根柄橋	その他	名葉ノ内・堀田線	5	1993	30	R1	I	点検				点検						
馬場橋	その他	馬場・岩ノ入線	5.4	1975	48	R1	I	点検				点検						
葭池1号橋	その他	小田部・葭池線	6.4	1981	42	R1	I	点検				点検						
宮田橋	その他	白田6号線	12.75	1996	27	R1	I	点検				点検						
百内橋	その他	稻葉下・根回線	9.45	1982	41	R1	I	点検				点検						
大池橋	その他	池前・向山1号線	5.3	1975	48	R1	I	点検				点検						
松ヶ作1号橋	その他	根岸・堤崎線	9.5	1976	47	R1	I	点検				点検						
北池橋	その他	池前3号線	7.35	1981	42	R1	I	点検				点検						
寺内橋	その他	白岩・稻沢線	11.45	1990	33	R1	I	点検				点検						
宮ノ脇橋	その他	春日・渋池線	9.1	1990	33	R1	I	点検				点検						
閑根橋	その他	松ヶ作18号線	9.45	1996	27	R1	I	点検				点検						
春日2号橋	その他	宮ノ脇・春日線	6	1975	48	R1	I	点検				点検						
高速側道5号橋	その他	高速側道5号線	4.5	1981	42	R1	I	点検				点検						
熊ノ木橋	その他	平内・熊ノ木線	2.56	1990	33	R1	I	点検				点検						
葭池2号橋	その他	堀ノ内・西明内線	2.57	1993	30	R1	I	点検				点検						
北原田橋	その他	北原田・山ノ神線	2.83	2012	11	R1	I	点検				点検						
来ノ池第二橋	その他	高速側道19号線	3.5	1973	50	R1	I	点検				点検						
一里壇橋	その他	一里壇1号線	2.56	1975	48	R1	I	点検				点検						
楓形橋	その他	兼谷平・楓形線	2.1	1975	48	R1	I	点検				点検						
坂ノ下橋	その他	白岩・稻沢線	4.6	1980	43	R1	I	点検				点検						
東笹田橋	その他	東笹田3号線	3.8	1980	43	R1	I	点検				点検						
堀切第一橋	その他	礼堂・堀ノ内線	3.76	1980	43	R1	I	点検				点検						
対馬内1号橋	その他	対馬内・堤崎線	3.4	1980	43	R1	I	点検				点検						
池前橋	その他	池前3号線	4.55	1981	42	R1	I	点検				点検						
平井5号橋	その他	平井5号線	2.9	1990	33	R1	I	点検				点検						
三枚田第二橋	その他	三枚田3号線	2.3	1990	33	R1	I	点検				点検						
滝池橋	その他	滝池1号線	2.1	2019	4	R1	I	点検				点検						
大谷下第二橋	その他	大谷下3号線	4.05	1973	50	R1	I	点検				点検						
大谷下第六橋	その他	青田原・西原線	4	1973	50	R1	I	点検				点検						
大谷下第五橋	その他	来ノ池1号線	4	1973	50	R2	I		点検				点検					
清水前第一橋	その他	清水前5号線	4	1975	48	R1	I	点検				点検						
大木内1号橋	その他	大木内・戸ノ内線	2.1	1968	55	R1	I	点検				点検						
竹ノ内橋	その他	大木内1号線	2.1	1968	55	R1	I	点検				点検						
東明石内1号橋	その他	硯石1号線	3.35	1971	52	R1	I	点検				点検						
摺鉢橋	その他	清水前・蛇ノ鼻線	3.1	1973	50	R1	I	点検				点検						
青田原第一橋	その他	平倉・石編田線	2.3	1973	50	R2	I		点検				点検					
東明石内2号橋	その他	東明石内6号線	4.25	1975	48	R1	I	点検				点検						
甲斐第一橋	その他	甲斐3号線	3.9	1975	48	R2	I		点検				点検					

凡例 : ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
甲斐第二橋	その他	甲斐3号線	2.1	1975	48	R1	I	点検					点検					
甲斐第三橋	その他	甲斐5号線	2.1	1975	48	R1	I	点検					点検					
境ノ内1号橋	その他	上境ノ内5号線	3.1	1981	42	R1	I	点検					点検					
新根岸橋	その他	大山・松沢線	11.48	2010	13	R1	I	点検					点検					
竹重内橋	その他	中田・百目木1号線	4.55	1975	48	R1	I	点検					点検					
大木内2号橋	その他	小田部・礼堂1号線	2.34	1968	55	R1	I	点検					点検					
南原田第二橋	その他	苗代田1号線	2.2	1981	42	R1	I	点検					点検					
光田第一橋	その他	光田3号線	2.15	1981	42	R2	I		点検					点検				
清水前第二橋	その他	清水前1号線	4	1973	50	R1	I	点検					点検					
清水前第三橋	その他	清水前4号線	4	1973	50	R1	I	点検					点検					
大谷下第四橋	その他	大谷下1号線	4	1973	50	R1	I	点検					点検					
大谷下第三橋	その他	大谷下2号線	4	1973	50	R1	I	点検					点検					
戸ノ内1号橋	その他	礼堂・堀ノ内線	2.4	1968	55	R1	I	点検					点検					
五斗内橋	その他	五斗内2号線	3.4	1975	48	R1	I	点検					点検					
対馬内2号橋	その他	対馬内・戌成内線	2.1	1975	48	R1	I	点検					点検					
柄沢2号橋	その他	白岩・稻沢線	3	1980	43	R1	I	点検					点検					
豆腐岩橋	その他	豆腐岩・南田線	2.6	1981	42	R1	I	点検					点検					
向田第一橋	その他	向田線	3	1990	33	R1	I	点検					点検					
向田第二橋	その他	熊ノ木・向田線	3	1990	33	R1	I	点検					点検					
白田橋	その他	宮田1号線	2.4	1964	59	R1	I	点検					点検					
礼堂橋	その他	小田部・礼堂2号線	2.6	1968	55	R1	I	点検					点検					
境ノ内2号橋	その他	境ノ内・上境ノ内1号線	2.2	1975	48	R1	I	点検					点検					
城ノ内橋	その他	久保内・城ノ内1号線	2.4	1979	44	R1	I	点検					点検					
下田橋	その他	和田下田3号線	2.2	1980	43	R1	I	点検					点検					
北川原田橋	その他	欠下1号線	3.2	1985	38	R1	I	点検					点検					
三枚田第三橋	その他	向田・根岸線	3	1990	33	R1	I	点検					点検					
千束橋	2級	下町・小幡線	33.4	1992	31	R3	I					点検				点検		860
ふれあい橋	その他	ふれあい橋線	34.8	1990	33	R4	I					点検					点検	1,500
三前橋	その他	三池沢5号線	5.3	1973	50	R1	I	点検					点検					
神座橋	その他	神座線	2.4	1975	48	R1	I	点検					点検					
平田石橋	その他	白岩・稻沢線	2.73	1980	43	R1	I	点検					点検					
下江橋	その他	万世・鍋田線	2.4	1980	43	R1	I	点検					点検					
苗代田第四橋	その他	苗代田2号線	2.2	1981	42	R1	I	点検					点検					
苗代田第三橋	その他	苗代田6号線	2.2	1981	42	R1	I	点検					点検					
苗代田第二橋	その他	苗代田8号線	2.2	1981	42	R1	I	点検					点検					
矢沢橋	その他	追付頭・表矢沢線	6.7	2020	3	R2	I		点検					点検				860
四合田第一橋	その他	上野台7号線	2.1	2021	2	R2	I		点検					点検				
小山第一橋	その他	殿田・矢沢線	2.4	1975	48	R1	I	点検					点検					
西笹田橋	その他	東禅寺・西笹田線	2.4	1975	48	R1	I	点検					点検					
堀切第三橋	その他	関根線	4.8	1980	43	R1	I	点検					点検					
南原田3号橋	その他	南原田3号線	2.4	1981	42	R1	I	点検					点検					
苗代田第一橋	その他	上年神・上前田線	2.3	1981	42	R1	I	点検					点検					
合 計 (千円)								35,842	156,896	55,450	163,867	61,366	16,426	50,200	59,580	58,301	59,739	

番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標					部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳							余寿命 (年)	今後50年補修費用						
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計 (A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別	健全度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート特異形式	評価③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)					
0028	関根橋	5.60	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.80	1984	39-	その他	0	0	5	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	14(1)	10	B	-	-	O	C	-	-	-	-	B	0	94.5	8.6	103.1			
0024	鹿ノ子田跨線橋	28.10	4	RC橋	RC 箱桁	2.00	1961	62-	1級	0	5	0	10	0	15	30	250	250	650	38.3	主部材	C(3)	91.7	2(8)	7	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	112.7	144.5	257.2	
0005	蛇ノ鼻橋	55.00	3	PC橋	ラーメン橋	6.50	1973	50-	2級	0	10	10	5	0	10	35	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	111.7	3(4)	7	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	89.7	23.4	113.1	
0038	堀ノ内橋	7.90	2	PC橋	PC 床版橋(その他)	7.50	2000	23-	2級	0	0	10	5	0	0	15	0.0	0.0	20.0	6.7	主部材	D(4)	108.3	4(17)	8	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	37	60.2	111.0	171.2	
0022	一本松橋	18.46	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1974	49-	その他	0	5	5	0	0	10	20	0.0	60.0	350	31.7	主部材	D(4)	88.3	5(1)	5	S	-	-	○	C	○	S	-	-	B	-	39.0	7.9	47.0		
0009	千代田橋	32.60	3	RC橋	RC T桁	4.00	1954	69-	その他	0	5	5	0	0	10	5.0	40.0	60.0	35.0	主部材	D(4)	75.0	6(2)	6	A	-	-	○	C	-	-	-	-	B	50以上	0.4	80.7	81.1			
0001	小池橋	41.60	3	PC橋	ラーメン橋	4.00	1973	50-	1級	0	5	5	10	10	40	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	116.7	7(3)	7	S	-	○	○	2	A	○	S	-	-	B	-	2.6	79.0	81.6		
0019	安達太良大橋	206.40	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2003	20	第2次修理実績	その他	5	15	10	0	0	10	40	25.0	25.0	650	38.3	主部材	C(3)	101.7	8(5)	7	S	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	2.5	723.4	725.9	
0013	三ツ池橋	41.80	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1973	50-	その他	0	5	5	0	0	10	20	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	96.7	9(6)	7	S	-	-	○	C	○	S	-	-	B	-	2.6	93.5	96.1		
0004	名郷跨線橋	42.40	1	PC橋	ボステン中空床版	6.75	2012	11-	2級	0	5	10	0	0	15	35	25.0	25.0	650	38.3	主部材	C(3)	96.7	10(7)	7	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	14.0	276.3	290.3	
0016	平成大橋	263.00	4	鋼溶接橋	箱桁(不明)	6.50	2001	22	第2次修理実績	その他	5	15	10	0	0	30	25.0	25.0	650	38.3	主部材	C(3)	91.7	11(9)	7	S	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	-	4.0	32.0	36.0	
0036	下白旗橋	14.00	1	RC橋	RC床版橋(BOXカルバート)	12.00	1978	45-	1級	0	0	15	10	0	15	40	60.0	50.0	50.0	50.0	床版	C(3)	90.0	12(10)	7	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	12.3	110.7	123.0	
0025	五百川跨線橋	10.90	1	PC橋	PC 床版橋(その他)	4.40	1962	61-	1級	0	0	5	10	0	15	30	40.0	55.0	450	46.7	床版	C(3)	83.3	13(1)	7	S	-	○	-	1	B	○	S	-	-	B	-	12.3	110.7	123.0	
0008	大森跨道橋	32.00	1	鋼溶接橋	T桁(不明)	6.00	1995	28	第1次修理実績	その他	10	5	10	0	0	10	35	50.0	35.0	700	51.7	下部工	C(3)	83.3	14(12)	7	S	○	-	-	1	B	○	S	-	-	B	-	0.4	90.2	90.7
0021	吾角橋	17.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1986	37-	その他	0	5	5	0	0	10	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	18(3)	7	S	-	-	○	C	○	S	-	-	B	-	0.4	44.4	44.8		
0002	富士内跨線橋	20.70	1	PC橋	フレテンT桁	7.50	1991	32	第2次修理実績	1級	5	5	10	0	0	15	45	50.0	80.0	90.0	73.3	主部材	C(3)	71.7	16(14)	7	S	○	-	-	2	A	○	S	-	-	B	-	12.3	110.7	123.0
0045	学校前歩道橋	19.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	0.00	2003	20	第2次修理実績	その他	5	5	0	0	0	10	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	17(15)	7	S	○	-	-	1	B	○	S	-	-	B	-	0.4	34.6	35.0
0020	滝ノ沢橋	16.30	1	PC橋	フレテン中空床版	7.50	2003	20	第2次修理実績	その他	5	5	10	0	0	10	30	90.0	50.0	1000	80.0	下部工	C(3)	50.0	18(6)	7	S	○	-	-	1	B	○	S	-	-	B	-	0.4	3.9	4.3
0032	輪ヶ淵橋	16.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	1.66	1978	45-	その他	0	5	0	0	0	5	10.0	200	400	23.3	主部材	C(3)	81.7	19(18)	9	A	-	-	○	C	-	-	-	-	B	50以上	1.0	28.1	29.1			
0003	弁天橋	40.20	1	PC橋	ボステンT桁	6.00	2001	22	第2次修理実績	1級	5	5	10	0	0	30	300	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	81.7	20(19)	9	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.4	3.4	3.9	
0006	小幡橋	20.01	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1971	52-	2級	0	5	5	10	0	0	25	40																								

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標						総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳								余寿命 (年)	今後50年補修費用				
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計 (A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別	健全部度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート翼形式	評価③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)			
0012	前田橋	15.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1973	50-	その他	0	5	5	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	86	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	50以上	0.4	3.4	3.9
0076	前田第三橋	11.60	1	RC橋	RC中実床版	4.00	1973	50-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	87	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0077	来ノ池第一橋	11.60	1	RC橋	RC中実床版	4.60	1973	50-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	88	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0101	川原橋	7.30	1	PC橋	PC床版橋その他	3.00	1975	48-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	89	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0114	堰ノ上橋	12.50	1	PC橋	PC床版橋その他	3.00	1983	40-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	90	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	20	0.0	0.0	0.0
0105	石神橋	5.45	1	RC橋	RC中実床版	5.50	1989	34-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	91	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	26	0.0	0.0	0.0
0149	長瀬橋	2.80	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.30	1990	33-	その他	0	0	5	0	10	0	15	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	30.0	92	経	B	-	-	○	1	B	-	-	○	C	27	0.0	2.7	2.7
0120	根柄橋	5.00	1	RC橋	RC中実床版	4.50	1993	30-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	93	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	30	0.0	0.0	0.0
0113	馬場橋	5.40	1	RC橋	RC中実床版	2.00	1975	48-	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	94	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0103	葭池1号橋	6.40	1	RC橋	RC中実床版	2.00	1981	42-	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	95	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	18	0.0	0.0	0.0
0115	宮田橋	12.75	1	PC橋	PC床版橋その他	2.00	1996	27-	その他	0	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	96	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	33	0.0	0.0	0.0
0118	百内橋	9.45	1	PC橋	PC床版橋その他	3.00	1982	41-	その他	0	0	5	0	0	0	5	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	20.0	97	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	19	0.0	0.0	0.0
0098	大池橋	5.30	1	PC橋	PC床版橋その他	3.00	1975	48-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	98	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0110	松ヶ作1号橋	9.50	1	PC橋	PC床版橋その他	4.50	1976	47-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	99	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	13	0.0	0.0	0.0
0092	北池橋	7.35	1	PC橋	PC床版橋その他	3.00	1981	42-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	100	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	18	0.0	0.0	0.0
0048	寺内橋	11.45	1	PC橋	PC床版橋その他	4.00	1990	33-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	101	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	27	0.0	0.0	0.0
0123	宮ノ脇橋	9.10	1	PC橋	PC床版橋その他	4.00	1990	33-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	102	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	27	0.0	0.0	0.0
0112	闇根橋	9.45	1	PC橋	PC桁橋(その他)	1.50	1996	27-	その他	0	0	0	0	0	0	0	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	13.3	103	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	33	0.0	0.0	0.0
0122	春日2号橋	6.00	1	RC橋	RC中実床版	2.00	1975	48-	その他	0	0	0	0	0	0	0	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	10.0	104	経	B	-	-	-	O	C	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0157	高速側道5号橋	4.50	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.22	1981	42-	その他	0	0	10	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	105	経	C	-	-	-	O	C	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0147	熊ノ木橋	2.56	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	6.50	1990	33-	その他	0	0	10	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	106	経	C	-	-	-	O	C	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0130	葭池2号橋	2.57	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	7.80	1993	30-	その他	0	0	10																											

■	健全度

優先順位一覧 制約0.60億円

番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標					総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳							余寿命 (年)	今後50年補修費用							
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材種別	健全度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未 満	カル バート 特異形 式	評 価 ③	今後5 年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)			
0156	南原田3号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	2.10	1981	42	-	その他	0	0	0	0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	0.0	171	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0
0154	苗代田第一橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋（BOXカルバート）	2.00	1981	42	-	その他	0	0	0	0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	0.0	172	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0

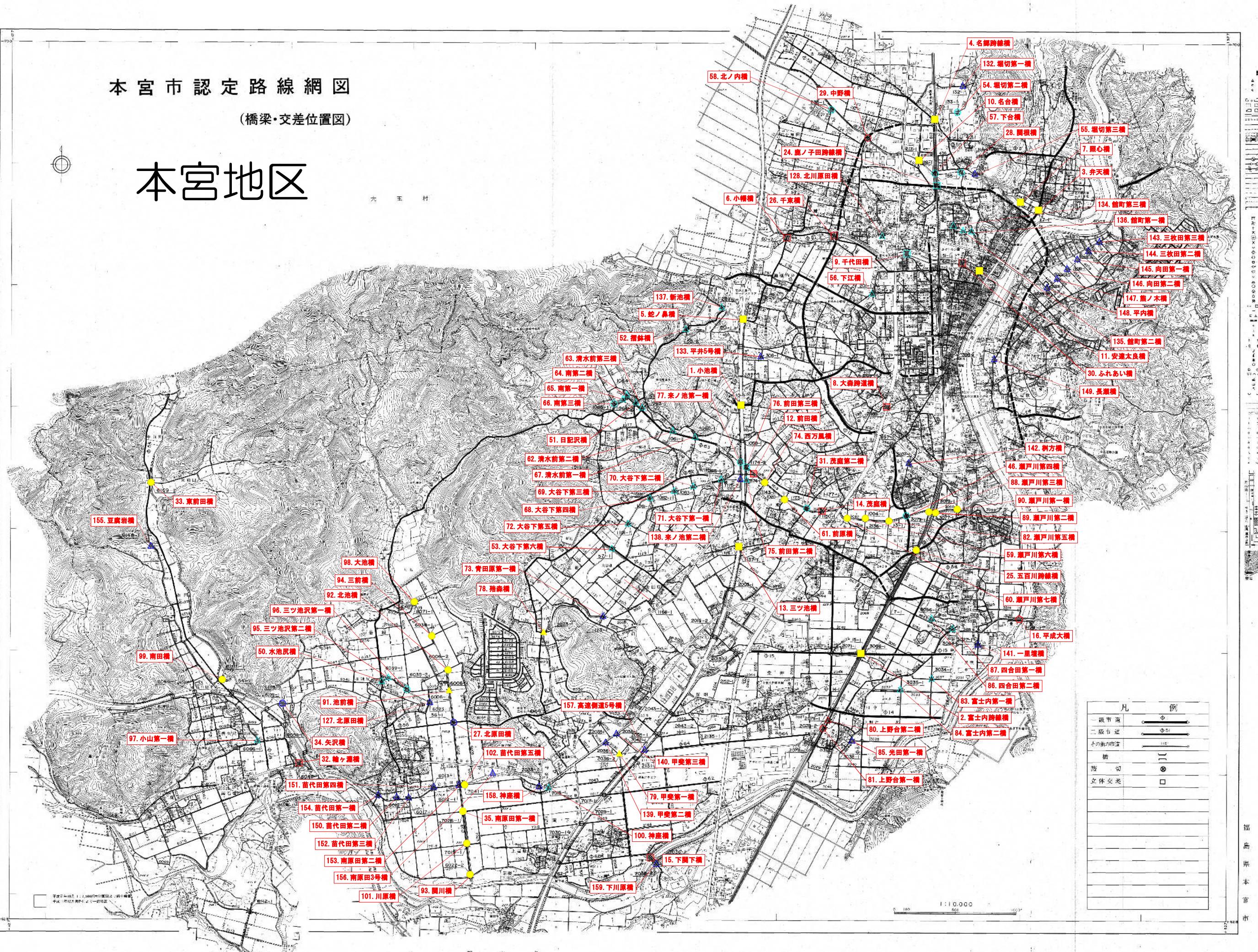
平成廿九年
平成廿九年
成成成成成成
十六五四三二一
年年年年年年
月月月月月月
新新新新新新

平成廿九年
平成廿九年
成成成成成成
二二二十九
年年年年年年
月月月月月月
新新新新新新

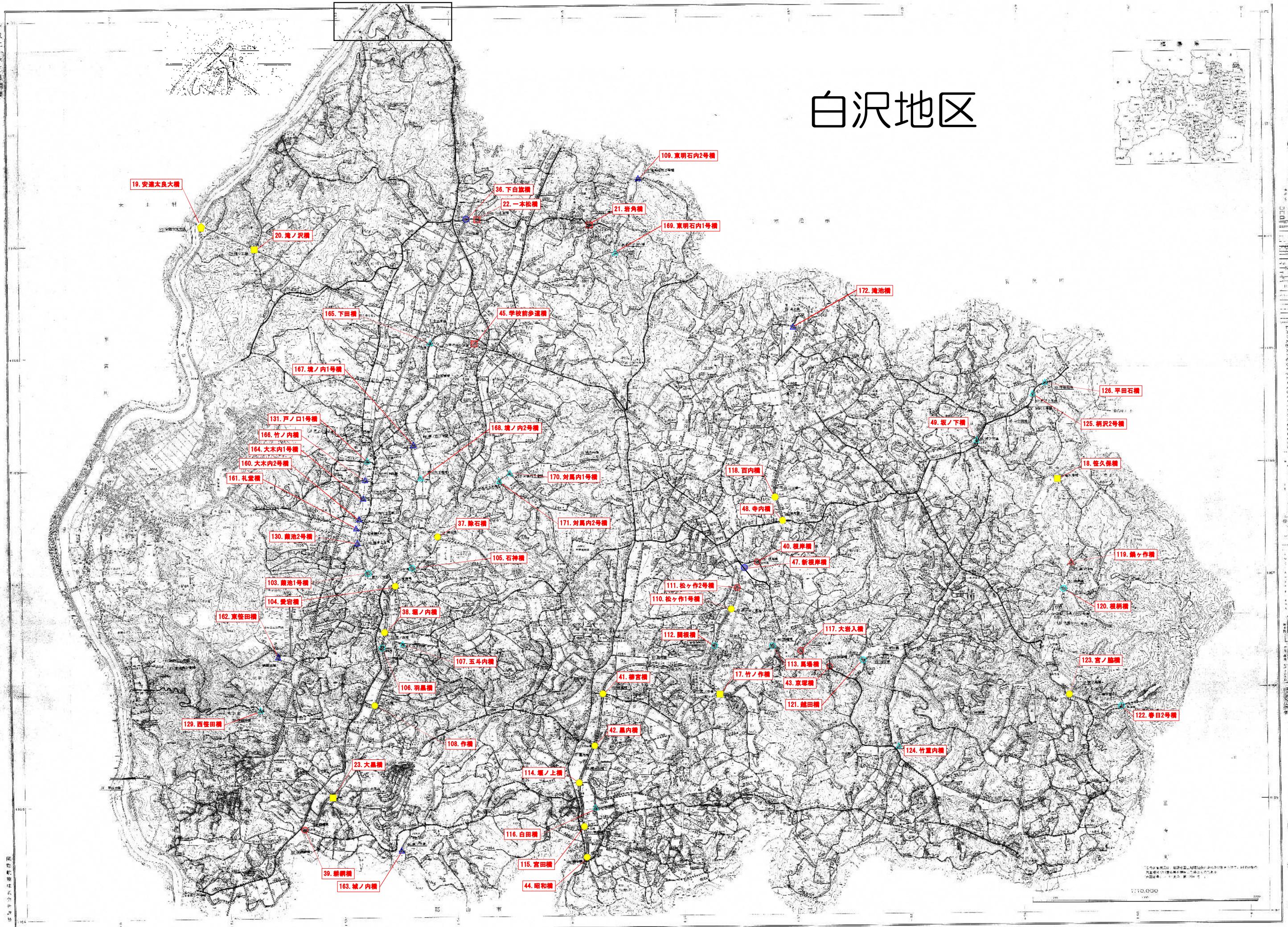
本宮市認定路線網図

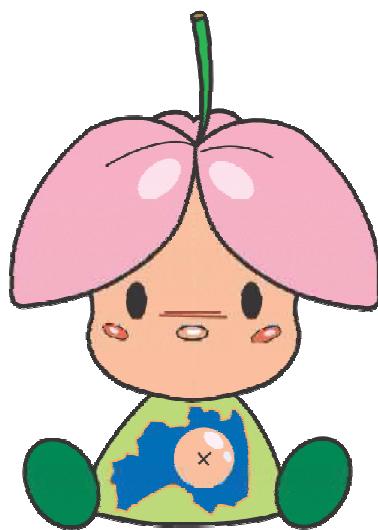
(橋梁・交差位置図)

本宮地区



白沢地区





本宮市橋梁長寿命化修繕計画

令和5年3月
(令和7年12月一部改訂)